

# 戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 新人大会

平成26年 12月 20日 時刻11:10

男子 【準決勝】

東香里	46	$\left[ \begin{array}{r} 4-12 \\ 16-0 \\ 22-10 \\ 8-6 \end{array} \right]$	28	八雲
-----	----	--	----	----

第1PD	東香里④⑤⑥⑦⑧、八雲④⑤⑦⑧⑨でスタート。 立ち上がり、お互いミスが続き得点が入らない。八雲は⑧にボールを集め、東香里は④のドライブでくずすが得点にならない。八雲の④の3Pが決まり八雲に流れがくる。⑧のインサイドプレーを中心に得点を重ねる。東香里は⑤のフリースロー、ランニングシュートが決まるが、4-12。 八雲リードで1ピリオド終了。
第2PD	東香里はオールコートマンツーマンに切りかえる。八雲はこのディフェンスをくずせず、ミスが続く。東香里⑥、⑧の速攻からのシュートが入り、8-12になったところで、八雲がたまたずタイムアウト。東香里はタイムアウトあけもDEFを頑張り、パスカットから速攻を出し、得点を重ねる。 20-12。東香里リードで前半終了。

第3PD	後半も東香里はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかける。 パスカットからの速攻が決まり、得点を重ねる。八雲は⑨のカッティングからのシュート、⑧のフリースローなどで得点を取っていくが、点差が開き、38-22。東香里リードで3ピリオド終了。
第4PD	八雲⑧のカウンターを利用して、東香里のディフェンスを崩そうとするが、うまく運べず、東香里はディフェンスからリズムをつかみ⑥、⑤のドライブで得点。八雲も⑧を中心に得点を取るが、追いつかず。28-46で試合終了。
(戦評／サダ中:植田)	

# 戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 新人大会

平成26年 12月 20日 時刻11:10

男子 【準決勝】

四條畷西	42	{	6-12 12-12 15-10 9-13	}	47	寝屋川三
------	----	---	--------------------------------	---	----	------

第1PD 四條畷西④⑤⑧⑩⑪、寝屋川三④⑤⑥⑦⑧

両チームディフェンスはマンツーマンでスタート。④中心で攻める四條畷西に対し、寝屋川三は速攻を折りまぜつつ、パスまわしから効果的に得点を重ねる。四條畷西6-12寝屋川三で1PD終了。

第2PD 四條畷西④⑧⑩⑪⑮、寝屋川三④⑤⑥⑦⑧

開始早々四條畷西⑪の連続3Pが決まるが、寝屋川三も④の連続3Pでやり返し、お互い流れをゆずらない展開。そのまま得点差はうまることなく、四條畷西18-24寝屋川三で前半終了。

第3PD 四條畷西④⑧⑩⑪⑮、寝屋川三④⑤⑥⑦⑧

切りかえが速い寝屋川三の攻撃をしのぎながら、四條畷西は⑪が3本の3Pを決め、少しずつペースを掴み、点差を詰めることに成功した。四條畷西33-34寝屋川三で3PD終了。

第4PD 四條畷西④⑤⑧⑩⑪、寝屋川三④⑤⑥⑦⑧

逆転に向け四條畷西が④の1対1を中心に猛攻を見せるも、最後まで走り抜いた寝屋川三が逃げ切り、四條畷西42-47寝屋川三で試合終了。

(戦評/交野三中:太田)

# 戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 新人大会

平成26年 12月 20日 時刻14:30

男子 【決勝】

東香里

43

11-13

16-11

6-14

10-16

54

寝屋川三

第1PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑤⑥⑦⑧でスタート。

互いにオールコートマンツーマンディフェンスでスタート。白は⑥のレイアップ、④の3ポイントとリズムよく得点し、7-0とする。黒は堅さが見られたが、ディフェンスからリズムを取り戻し、⑤を中心に速攻から得点を重ねる。互いに一步も譲らず第一ピリオド11-13、黒リードで終了。

第2PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑤⑥⑦⑧でスタート。

開始早々、黒は④のリバウンドシュートで引き離そうとするが、白も④のカットイン、3ポイントプレーなどで応戦し、一進一退の攻防が続く。残分2分で、白④の3Pで22-22の同点とし、⑨の速攻で24-22と白が逆転する。黒も⑤の速攻ですぐさま24-24の同点とする。白は終了間際、④の3ポイントで27-24として、白リードで前半終了。

第3PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑤⑥⑦⑧でスタート。

黒は⑧のフックシュート、⑤のジャンプシュートで開始早々、一気に3連続得点で30-27と逆転。白は⑦の速攻やドライブからバスケットカウントで応戦するも、黒の④、⑤がディフェンスからスチールし、速攻で得点。白は徐々に疲れが見え始め、足が止まってしまい、黒のディフェンスに苦しめられ、第3ピリオド38-33。黒リードで終了。

第4PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑤⑥⑦⑧でスタート。

黒は⑤を中心にリズム良くボールを回し、④、⑤、⑦のジャンプシュートなどで得点を重ねていく。白は黒のディフェンスに苦しめられるも、④の3ポイントシュートで応戦するが、なかなか得点を重ねることができず、54-43で終了。2014年度北河内新人大会は寝屋川三中が優勝となった。

(戦評/サダ中:植田)